

みなみいくたっこ

地域教育会議は、地域と学校、行政が共に協力して、子どもがいきいき育つまち、おとも楽しく学べるまち、ひいてはあらゆる人々が共に生きる地域社会を目指します。

教育を語るつどい「ヤングケアラー」

まずは知ることからはじめませんか？ 講師：大庭美代子さん 2024年6月14日（金） 川崎市立南生田中学校にて

「ヤングケアラー ～子どもたちが希望を持てる社会に～」について、講師の方をお招きしての講演会を開催しました。南生田中学校区地域教育会議では初の「教育を語るつどい」です。

ヤングケアラーってなに？
ヤングケアラーの体験から
ヤングケアラーの課題と取り組み

知ってタッコ？



◎わたしたちにできる事は？

昨年度のネットワーク会議で挙がった「ヤングケアラー」というワード。聞いた事はあるが、細かくはよく分からない事もあります。「ヤングケアラー」について、少しでも知る事により、困った状況にある子どもたちに、地域や周りにいる人がなにか手助けになるような事ができればという想いから「教育を語るつどい」の題材に取り上げました。

◎「自分の居場所」の大切さ

講師の大庭さんもヤングケアラー当事者であったという事で、ご自身の体験を、とても分かりやすく、また淡々とお話くださいました。その中で、「自分の居場所」についてのお話が、とても大切に感じました。家にいても自分の時間が持てない子どもにとっては、どこかに自分の居場所が必要だという事、それがあれば家庭での自分を受け入れる事もできるのかなと思いました。小学生であれば、遊び場である公園、中学生であれば、部

活動などと、子どもたちが子ども同士でコミュニケーションを取り、集中して自分の時間を過ごす環境が「自分の居場所」になるのだと思います。子どもの居場所が少なくなっている昨今、居場所を守る事、作る事に、われわれ地域の大人や、学校の先生、保護者が関わり、子どもの居場所作りをしていく事が大切だと考えます。悩んでいる子どもたちは、「自分の居場所」があり、自分は一人ではない、見守ってくれる大人がいると感じられる事で、希望を持って成長していく事ができるのではないのでしょうか。地域教育会議でも、そんな環境作りになにかお手伝いできるよう活動していければと思います。

今後も、地域全体で子どもたちの事を考えるテーマで「教育を語るつどい」を開催していきます。「ヤングケアラー」については、これ以後も取り上げる事ができればと思います。みなさんにも、ぜひ地域教育会議の活動に参加し、南生田中学校区を盛り上げていただきますようお願い申し上げます。

たくさんの方に熱心に聞いていただき、温かい気持ちになりました。



『ヤングケアラーの歩き方（風鳴舎）』

講師プロフィール

大庭美代子

ヤングケアラー元当事者

居場所づくりプロジェクト任意団体あゆみYELL代表

熊本大学教育学部および熊本大学医学部保健学科卒。助産師、保健師、看護師、思春期保健相談士、小学校教諭一種、幼稚園教諭二種。育児相談や、育児講座・性教育講演などの講演多数。母子支援活動家としての活動は多岐にわたる。新たに10代の居場所作りに取り組みさらに活動の幅を広げている。



クリーン活動

2024年11月11日(月)
南生田中学校区各地域にて



南生田小学校6年生・南生田中学校2年生と地域教育会議委員や地域の方々にて、地域クリーン活動を行いました。日頃お世話になっている公園等を中心に、11箇所を11グループ(小中混合チーム)で清掃しました。

● 地域の方といっしょに

掃除箇所に着くと、既に地域の方々がスタンバイしておられ、みなでご挨拶をしてから掃除に取りかかりました。お話を聞くと、掃除箇所前の家の方がポスターを見て参加してくださいました。またある公園では、普段遊びに来ている公園だから一緒に掃除をしないと、保育園の子どもたちが参加してくれたり、世代が入り混じり和やかな雰囲気の中で行われました。小さなお友だちは、真剣なお顔でお兄さんお姉さんの落ち葉集めのまねをしていたり、中学生が6年生に部活の勧誘をしていたり、交流も自然に出来ていて、笑い声すら聞こえる楽しい活動になっていました。特に中学生女子の、保育園児との関わり方は、優しく積極的で、感心するほどでした。



● 利用者のマナー

一方で、残念に思ったのは、公園にペットボトルや普通ゴミの他に犬の糞やタバコの吸い殻がいくつかあったことでした。子どもたちや地域の方々の大切な憩いの場ですので、ゴミの無いきれいな公園で過ごせるようにしたいのはもちろん、安心して過ごせる清潔な公園であるよう心がけたいと、あらためて思いました。

● ありがとうございました



地域クリーン活動を通して、子どもたちが、感謝の心を持って通学路や公園を利用してくれるようになればうれしいです。参加してくださいました。ありがとうございました。



竹箒 50 本を補充したほか、外用ほうき 50 本、ちりとり 30 個を南生田小 PTA さんよりご寄付いただきました。

南中ふれあい広場参加

2024年11月23日(土) 川崎市立南生田中学校にて
南生田中学校のふれあい広場に体験コーナーとして地域の方々にご協力いただきました。

たくさんの生徒、地域の方に体験していただき盛況でした！これからも、生徒に体験してもらいたい、いろいろな事を実現していきたいと思ひます！ご協力していただいた方々に再度お礼申し上げます。ありがとうございました。

栗谷囃子

バイオリン

手作りカレンダー



南小なかよしまつり参加

うんこ先生がやってきた！

2024年11月16日(土)
川崎市立南生田小学校にて



11月20日は川崎子どもの権利の日。川崎市が市制100年にあたり、「うんこドリル」でおなじみのうんこ先生とコラボして作成した小冊子「川崎市×うんこドリル 子どもの権利」を使って、子どもたちに権利について考えてもらうことにしました。くじ引きもあわせて、「うんこドリルでうんだめし～子どもの権利を学ぼう～」と題して開催しました。

いらっしゃ～い！

● うんこ先生といっしょに「子どもの権利」について考えよう！



地域教育会議メンバーが「うんこ先生」となり、子どもたちと一緒に川崎市子どもの権利に関する条例についてクイズをしました。うんこドリルの問題7問の中から2問出題。ちょっぴり難しい内容だったかもしれませんが、みなさん、うんこ先生の話をじっくり聞いてくれました。



「①安心して〇〇する権利」
「②自分を〇〇り、〇〇られる権利」
〇〇の中にはいる言葉、わかるかな？

「子どもの権利」小冊子は、参加した子どもたちに配布しました。おうちに帰ってから家族のみなさんとうんこドリルの問題を考えてもらえたかと思います

参加した子どもたちに、7つある権利の中から自分が大事だなと思うものを選んでシールを貼ってもらいました。

② ありのままの
自分での権利



「うんだめし」の
くじ引き
いいもの
当たったかな



● うんこをかぶった甲斐があります うんこ先生たちの感想



どの学年の子も真面目な表情でしっかり考え、きちんと回答していました。権利についての解説も最後までしっかり話を聞いてくれました。こどもの権利について少しでも覚えていただき、困った時などは思い出ししてくれるとうれしいです。



子どもたちが積極的に参加してくれました。うんこ先生を通して伝えることで、受け入れやすくなるのではないかと思います。話をしてみると、こどもの権利条約について、児童の間ではすでにある程度の認知度があると感じました。



低学年から高学年まで真剣に聞いてくれました。分かりやすくするため、うんこ先生を最大限に活かしました。権利について少しでも知って理解し、全員が子どもらしく、毎日を過ごし成長していってくれば、うんこをかぶった甲斐があります。

2024年は「子どもの権利条約」に日本が批准して30周年の記念の年だったよ。子どもたちに、「世界の子どもの権利」も知る機会を持ってもらえたらいいな。



ネットワーク会議開催

南生田中学校区の子どもたちに関わる諸団体が集まりました

2024年9月26日(木)
多摩区役所生田出張所にて

3つのテーマで話し合いました

会議では最初に、教育を語るつどいの講演会「ヤングケアラーについて」のアンケート結果の報告、振り返りを地域教育会議よりお伝えしました。その後、子どもたちの未来について3つのテーマについて意見を出し合いました。

- ①今の子どもたちについて思う事
- ②未来の望むべき子どもの姿は？
- ③未来の子どもたちのために、今、私たちができる事は？

①の「今の子どもについて」に関して、SNSの普及で今の子どもたちの環境が、昔と大きく違う事への不安、共働き世帯が多く子どもたちの放課後の過ごし方の心配、ネット犯罪の増加についての不安、中学生で夕ご飯を作っているお子さん

が多くいる、などの意見がでました。また、スポーツなどで活躍する子どもも多い、察知能力があり優しい子どもも多い、という声も。②の「未来の子どもの姿」に関しては、元気に育ってほしい、自分の力で問題解決できる人、いろんな事にチャレンジできる人、地域を担う人になってほしい、などの意見がでました。③の「私たちができる事」に関して、地域が連携する事によって、コミュニケーションを取れる居場所づくりや施設開放団体でできる事を増やしたい、失敗してもいいよという環境にしたい、子どもたち主導の行事を増やしたい、大人が楽しそうにしている姿を子どもたちに見せていく、という前向きな意見がたくさん出ました。

たくさん頂いた意見を活かして、地域や学校などと連携して子どもたちのため、できる事を考えて、つなぐような役割ができればと思います。

地域教育会議ってなに？

子どもに関わる諸機関、団体と住民委員が緩やかなネットワークを活かして活動します。



(川崎市地域教育会議行政区長会発行の資料より抄録)

1980年代、校内暴力で荒れる学校や少年事件が多発し、教育の危機が指摘されました。川崎市では、市内の全小学校にて教育集会を開催し、その意見を元に提案されたのが「地域教育会議」です。1990年の試行を経て、1998年に51中学校区、7行政区全てに設置されました。

メンバーを募集します



南生田中学校区地域教育会議では、一緒に活動していただける方を募集しております。

わたしたち南生田中学校区地域教育会議は、子どもたちが生きる力を育み、幸せな日々が過ごせるように、また、安心安全な町づくりのため、地域、学校、行政と協力して活動しています。子どもたちの声を聞く「子ども会議」、子どもに関わる諸団体をつなぐ「ネットワーク会議」、地域とのつながりをふかめる「クリーン活動」などが主な活動です。

子どもたちのために何かしたい、笑顔がみたい、関わりたい、いろいろな方と交流したい、そんな思いをお持ちでしたら、ぜひ「ちぎょう」

に参加してみませんか？ まずは、南小なかよしまつりや南中ふれあい広場にて、小学生中学生と交流し、雰囲気味わってみてください！ご応募お待ちしております！

南生田っ子応援団です！

